



中部大学春日丘高校 SGH課題研究「世界の現状を知り考える学習」

—「教えられる」のではなく、自ら発見する力を養い、「気づき」を「行動」へとつなぐ—

## 第4回 世界の現状と課題 ～グローバル・イシュー…何が問題？ なぜ問題？ ～人権(貧困)～

### 開催概要

- ◆ 日時: 2017年5月6日(土) 3、4時限[10:50~12:40]
- ◆ 場所: 中部大学春日丘高校 物理室、生物室、化学室
- ◆ 指導者: NPO 法人 NIED 国際理解教育センター職員、本校教員 (=ファシリテーター)
- ◆ 対象生徒: 第1学年啓明・国際コース生徒
- ◆ 第4回学習のねらい
  - ① グローバル・イシューを、人権(貧困)と環境(持続可能性)の視点から掘り下げ、つながりに気付く。
  - ② 問題の現状を知り、原因を探り、解決に向けて必要なものや役立つことを考える。
  - ③ 様々な参加型手法を活用し、協力して学ぶ力、ファシリテーションの力、システム思考を養う。

### 学習の流れと成果

※「F」はファシリテーターの意

#### 1. オリエンテーション

- ① 生徒は、くじびきでグループに分かれ、テーブルに座る。(Aグループ…4人×1、Bグループ…5人×2、Cグループ…8人×2、9人×2)
- ② 第3回の活動の振り返り。自分と世界はどこでどのようにつながっているか、グローバル化による恩恵は何か、恩恵がある一方の課題は何か、について確認する。

#### 2. 貿易ゲーム準備

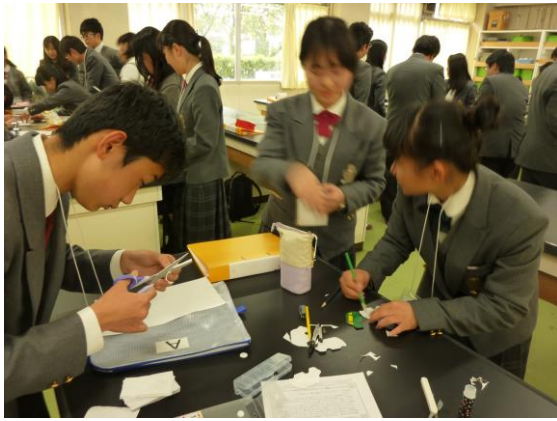
- ① Fは各グループに、それぞれの内容物が入った封筒を配布し、ゲームのルールを説明する。  
貿易ゲームは、各グループ異なった道具や素材が与えられており、各グループで決められた製品を作る。製品を売ることでお金が得られ、できるだけ多くのお金を儲けることが目的である。

〈ルールの詳細〉

- ・各封筒に入っている文房具しか使えない。個人の文房具はしまっておくこと。
- ・製品を世界銀行(F)に収めると、所定の代金がもらえる。集計シートに記入され、現金での支払いはしない。
- ・製品の質次第では受け取らない場合がある。サイズが異なるもの、指定の色でないもの等は受け取らない。
- ・世界銀行から必要に応じて現金を借りることができる。
- ・製作に必要で自分のグループにないものは他グループから借りることができる。(貸す時はお金を取る)

〈封筒の中身と作る物の例〉

- ・Aグループ…「自動車」を作る。1台10000円で売れる。  
(封筒の中身)→自動車の型紙1枚、コンパス1つ、A4用紙1枚、えんぴつ2本、はさみ3つ、のり1つ、色えんぴつ(赤・黄・緑)各2本、現金50000円(100円×50枚)。
- ・Cグループ…「バナナ」を作る。1房1000円で売れる。  
(封筒の中身)→バナナの型紙2枚、A4用紙10枚、えんぴつ1本、色えんぴつ(黄)1本、現金500円(100円×5枚)。



貿易ゲームの様子

グループ	1(A)	2(B1)	3(B2)	4(C1)	5(C2)	6(C3)	7(C4)
①売上げ	15000	5000	2000	1000	2000	5000	500
②残高現金	2500	2300	1900	0	0	300	11500
③計(のこ)	92500	27300	24900	3500	9800	5300	12000
④最初の現金	5000	3000	3000	500	500	1000	500
⑤世界銀行の融資	-10000			3000	-500		
⑥赤字	77500	24300	21900	2000	700	4300	11500

最終的な収支報告

### 3. 貿易ゲーム実施

- ①各グループ封筒の中身を確認し、ゲームをすすめる。
- ②Fは途中で作戦タイムを実施する。どうすればもっとお金を稼げるか、他グループとどう交渉するか、など。
- ③制限時間が来たらゲームを終了し、各グループは手持ちのお金を発表し、Fはすべてのグループの収支一覧を集シートに記入し、全員が見えるようにする。

### 3. 貿易ゲーム・全体のふりかえり

- ①グループの区分(A=先進国、B=中進国、C=途上国)、初期条件(グループの袋の中身)の違いを知る。
- ②同じルールの下でもあらかじめ不平等な初期条件を設定することで、豊かなグループはより豊かに、貧しいグループはより貧しくなるというように、経済格差が拡大していく仕組みを理解する。
- ③貿易ゲームのような構造(貧困・格差の固定化)が続くと、どんな影響があるか、派生図で考える。
- ④「この不公平な構造」をなくすためには何が必要か、私たちに何ができるか、グループで考える。

(生徒のふりかえりシートから)

#### ☆発見したこと、気づいたこと、わかったこと

- ・貿易によって発展途上国が豊かになることが、どれほど難しいか分かりました。
- ・発展途上国はもっと頑張らないといけないとよく聞きますが、元から備わっているものが先進国とは違うので、それ知らずに言うのは無責任だと思いました。
- ・世界の貧困などで格差が生まれ、世界の平和が遠ざかっていく。
- ・途上国が苦しいことは知っていましたが、実際に資源がない、不適切な価格での取引など、劣悪な環境をゲームで体験することで、途上国は頑張ってもなかなか貧困サイクルから抜け出せないと分かりました。
- ・格差を実際に体験して、世界で起こっている問題が、どれだけ大きいことかわかった。
- ・弱い立場にある人々は、強い立場の人々の情報がなく、とても不公平だと感じた。

#### ☆大切だと思ったこと、これから実行しようと思ったこと

- ・自分の利益だけを考えず、世界の利益を考えて行動できると公平に近づけるのではないかな。
- ・国を助けようと手を差し伸べるためには、その苦しむ国の現状を知らなければ適切に対応できません。知ろうと思いました。
- ・今できることはないかもしれないけど、これから大人になっても世界の幸せを願って追求していきたい。
- ・みんな平等とはいかないが、弱い人を思いやるべきだ。
- ・どこの国に生まれてもみんなが幸せに生きていく権利があり、それを尊重しあうことが必要。
- ・フェアトレード商品を積極的に買おうと思いました。